

BZ17-004**生体吸収性ポリマーのフィルム化・メッシュ加工技術**提案提出期限

- 2017年8月31日

依頼企業の概要

- テルモ株式会社
- <http://www.terumo.co.jp/>
- 医療機器・医薬品の製造販売
- 売上高：5,142億円（2017年3月期）

提案者にとっての機会（協業形態）

	部材供給
○	受託加工
	技術ライセンス
	受託開発
	その他（ ）

求める技術とその背景

- 生体吸収性 PGA/PLA（ポリグリコール酸/ポリ乳酸）複合樹脂にてメッシュフィルムを作製すべく、複合樹脂のフィルム化・メッシュ加工を受託できるパートナー企業を求めています。フィルム化のみ、メッシュ加工のみのご提案も歓迎します。
- 求めるメッシュフィルムの性質
 - フィルム厚：500 μm 以下
 - サイズ：50 mm x 50mm
（最終的には、枚葉フィルムとして使用しますが、ロールフィルムとして製造後切断する製造方法の提案も歓迎します）
 - メッシュ孔径：100 μm ～ 2000 μm
 - 孔径密度：20～1000 個/cm²（孔径によります）
- 使用する PGA/PLA 複合樹脂の性質：弊社指定の樹脂を加工いただきます
 - 粘度：0.16～1.3dL/g
 - 可溶溶媒：アセトン、トルエン など
（ただしフィルム成形後の残留溶媒量：トルエン ≤890 ppm, アセトン ≤ 0.1%）

想定している用途

- 医療機器部材：生体埋め込み材料として使用します

想定されるビジネス規模

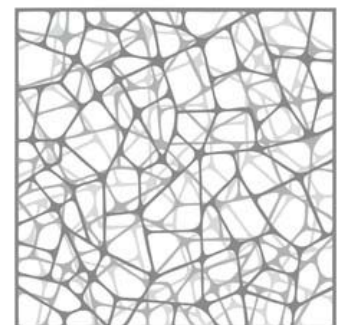
- 生産数量：45,000 個/年

開発スケジュール

- 試作開発：半年程度

現時点で求める技術の完成度

- 試作品を有している企業からの提案を特に歓迎します



- PGA, PLA など類似の樹脂のフィルム化・メッシュ加工実績のある企業からの提案も歓迎します。

対象とするアプローチ例（下記に限らない）

- 生体吸収性ポリマーの加工技術を幅広く募集します
- フィルム化方法例（以下の課題を解決できる技術の提案も歓迎します）
 - 溶融法：課題 樹脂に柔軟性がなく脆いため、フィルム成形が難しい
 - キャスト法：課題 残留溶媒の除去が難しい

対象外のアプローチ例

- 以下の技術は、既に検討済みのため、対象外といたします。ただし、現加工方法の課題が解決できる場合には、その限りではありません。
 - エレクトロスピンニングによる不織布作製
 - 紡糸+編物

留意点

- 検討済み加工法の課題
 - エレクトロスピンニングによる不織布作製+レーザーカット：歩留まり、生産性が悪く、コストが高い
 - 紡糸+編物：少量生産が難しく、試作コストが高い

BIZ SAITAMA の概要、提案方法はこちらの **URL** をご覧ください
http://biz-saitama.jp/exhibition_entry.html

【事務局】

- BIZ SAITAMA 実行委員会事務局：さいたま市産業創造財団
<http://www.sozo-saitama.or.jp/>
- 商談会に関するサポート：株式会社ナインシグマ・ジャパン
<http://www.ninesigma.co.jp/>

【問い合わせ窓口】

- メール：biz-sai9@sozo-saitama.or.jp
- 電話：03-3219-2006（ナインシグマ・ジャパン：BIZ SAITAMA 担当宛）